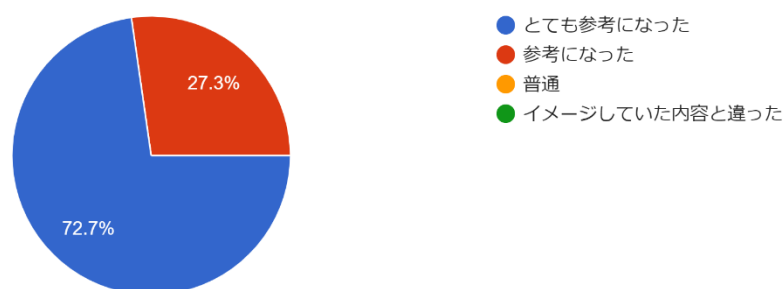


## 第 15 回意見交換会セミナー交流会参加後アンケート結果

2023.3.22

今回のテーマについていかがでしたか。

11 件の回答

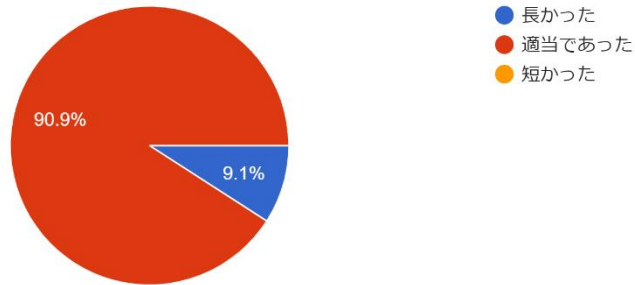


特に参考になった内容は何ですか。10 件の回答

- ・ロービジョンケア～看護師としての関わり方～
- ・各施設の間診表を参考にできた。また、それぞれの施設のロービジョン外来の運用を知ることができた。
- ・間診表の内容について
- ・看護師の役割としてのロービジョンを考えるという軸みたいなものをなんとなくですが感じる事ができた様に思います
- ・看護師の役割として実生活での実行状況（している活動の）確認 寄り添うロービジョンケアと必要時に手を引く背を押すロービジョンケア
- ・看護師が担う役割
- ・各病院・クリニックによつての病院特性の違いがあることが分かりました。それによつて、アセスメントシートを使用する方法を対象と目標によつて聴取の仕方を変える必要があると感じました。当初、アセスメントシートの統一化をととも考えましたが、まず、アセスメントシートを使う目的意識を明確に持たなければ、上辺だけのアセスメントで終わってしまう可能性があると感じました。まずは、病棟・外来スタッフとロービジョンスクリーニングを行う目的をすり合わせる必要を感じました。
- ・対象者、問診内容、看護師の介入
- ・高橋医師の講義の中でロービジョンケアの看護師の役割についてお話しされた事が、私の今後の看護に影響を与えたと思います
- ・他施設で使用している問診表を知ることができ、大変参考になった。LVFAM も、知ることができて良かった。

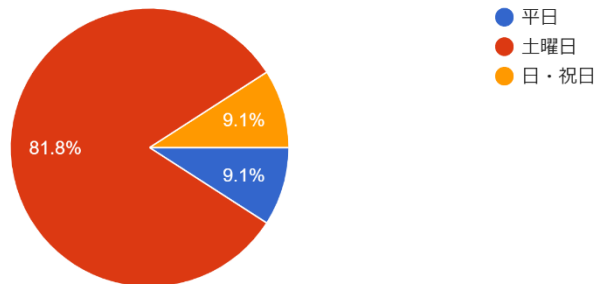
時間についてはいかがでしたか

11件の回答



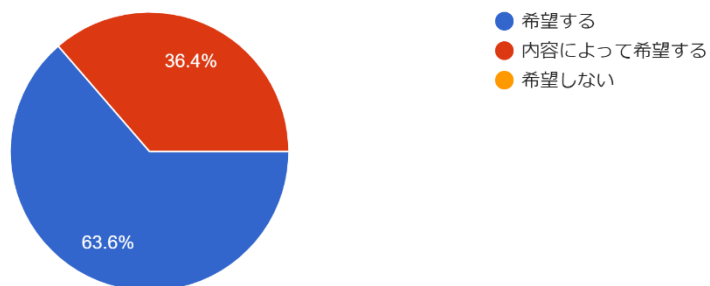
日程についての希望があれば教えてください

11件の回答



今後も意見交換会（セミナー含む）への参加を希望しますか。

11件の回答



今後行って欲しいセミナーや意見交換会のテーマなどがあれば教えてください。例）点眼指導について、地域連携についてなど 9 件の回答

- 地域連携について
- 新入職者育成について、また、病棟、外来、オペ室などローテーションがある病院では、どのように育成をしているのかプログラムがあれば教えていただきたいです。
- 感染症対策、視機能障害の社会的な資源についてセミナーを希望

- 地域連携のやり方。cw がない施設でのやり方
- 現在、緑内障患者の FP 受容体作動薬の副作用について勉強しています。患者さんは外見に表れる副作用を嫌だと感じながらも点眼の重要性を理解し、点眼をすることの利益と不利益を天秤にかけた上で点眼を継続している方が多いと感じています。臨床では、「点眼後に洗顔してください」と医師からお伝えするのみにとどまっています。色素沈着や DUES に対するケアは洗顔方法の指導、目立たないようなメイクの仕方など検討できることはあるかと思いますが何もできていない状況です。他の病院で FP 受容体作動薬の副作用のケアとして行われていることはあるのか知りたいです。
- 今回金銭的な事も少し話が出ていましたが、手術や治療に関して金銭的に困難なケースをどのようにされているのか。また地域との連携等をどのようにされているのか伺ってみたいです。
- 外来、入院における継続的な点眼指導
- 日帰り硝子体手術後の体位制限への援助について
- 眼科における多職種連携

そのほか今回のロービジョンケアに関するテーマも含め、ご意見やご質問などあれば以下にお願いいたします 5 件の回答

- 当院では、他部署、他職種との連携が充分とれていないので定期的なカンファレンスを実現したい。また、ソーシャルワーカーさんがいないので、どうフォローしていくか骨組みをつくる必要がある。
- 評価ツールというのは必要だと思いますが、ロービジョンケア自体を評価するのはとても難しいと感じました。小野先生の尺度は視覚リハの評価にはとても良いと思うのですが看護での活用は時間がかかなり必要になりそうです。なのでもう少し看護向けのフローチャートみたいなものが作成できればと思います。良い案がでないか高橋先生の本を読んでもみます。本日はありがとうございました。
- 看護師の役割を考える栄養を補給できた様と感じました コロナ禍で始まったオンラインでの交流会だと思いましたが、遠方からでも参加できるのでありがたいです いつもありがとうございます これからもよろしくお願いします
- 高橋先生の問診票を修正して使用していると言われていた資料を参考にいただけないでしょうか？
- 毎回非常に勉強になる会を開いて頂いて感謝しております。今回も問診票を通して、他院の眼科看護を知ることが出来て、とても勉強になりました。ロービジョンケアについて、何もわからずに参加させていただきましたが、数回の意見交換会に参加させていただいた事で高橋先生のわかりやすい本にも出会えてロービジョンケアとはなんぞやという事を知り、そこに自分がどの様に関わっていきたいのか、見えてきました

た。まだまだ学ばなければ自分の思う看護は出来ませんが、道が見えてきたことは大きな一歩となりました。困っている患者さんを助けられるよう努力していきたいです。ありがとうございました。